

2020年度 アンケート方法・回答者数など

■調査の目的・方法■

本学では、学生の考えや行動を把握し教育環境の質を向上させ、学生の満足度を高めることを目的として、学生を対象としたアンケート調査を実施してきました。

WEBアンケートシステムによる調査も4年目となり、学生からの回答率は年々上昇しています。今年是在学生の過半数となる、61.0%の回答率となりました。(表-1)

- (1) 調査の対象 2020年度 本学在籍学生
- (2) 調査の方法 WEBアンケートシステム（無記名）を利用し、学生個々が回答した。
- (3) 実施期間 2020年12月7日（月）～2021年1月14日（木）
- (4) 回答者の基本情報

表1 回答者の基本情報

2020年度	全体	国際英語	史	心理	日本文化	幼児教育	児童教育	生活文化	観光文化		目白C	我孫子C
学生数	1205人	140人	169人	178人	107人	216人	80人	134人	181人		321人	884人
回答者数	735人	67人	108人	108人	85人	123人	58人	93人	93人		160人	575人
回答率	61.00%	47.86%	63.91%	60.67%	79.44%	56.94%	72.50%	69.40%	51.38%		49.84%	65.05%

【参考】2017～2019年度の基本情報

2019年度	全体	国際英語	史	心理	日本文化	幼児教育	児童教育	生活文化	観光文化		目白C	我孫子C
学生数	1119人	130人	151人	151人	98人	235人	63人	134人	157人		287人	832人
回答者数	605人	79人	71人	89人	46人	150人	28人	56人	86人		165人	440人
回答率	54.07%	60.77%	47.02%	58.94%	46.94%	63.83%	44.44%	41.79%	54.78%		57.49%	52.88%

2018年度	全体	国際英語	史	心理	日本文化	幼児教育	児童教育	生活文化	観光文化		目白C	我孫子C
学生数	1060人	101人	142人	125人	73人	274人	51人	148人	146人		247人	813人
回答者数	567人	48人	60人	79人	36人	139人	34人	90人	81人		129人	438人
回答率	53.49%	47.52%	42.25%	63.20%	49.32%	50.73%	66.67%	60.81%	55.48%		52.23%	53.87%

2017年度	全体	国際英語	史	心理	日本文化	幼児教育	児童教育	生活文化	観光文化	社会教育	目白C	我孫子C
学生数	1044人	82人	134人	114人	68人	289人	61人	160人	123人	13人	205人	839人
回答者数	390人	11人	79人	90人	47人	22人	33人	94人	12人	2人	23人	367人
回答率	37.36%	13.41%	58.96%	78.95%	69.12%	7.61%	54.10%	58.75%	9.76%	15.38%	11.22%	43.74%

2020年度 学修時間について

■調査と検証方法■

学修時間については2つの設問で調査しています。

1つは「授業に関わる学修時間」の調査（設問61. あなたは1週間にどれくらいの時間を授業で出されたレポートや課題、授業の予習・復習のために使っていますか 表2-1, 2）

2つ目は「それ以外の学修時間」の調査（設問63. あなたは1週間にどれくらいの時間、授業に直接関係のない自主的な勉強(卒業論文、資格取得、就職・受験など)のために使っていますか 表3-1,2）の2つです。調査対象者数 1205名、回答率 61.0%を検証しました。

■検証■

「授業に関わる学修時間」については、1週間で『5時間未満』の学生が昨年(2119年度)は77.9%でしたが、今年(2020年度)は68.8%となり、9ポイント減少しています。『5時間以上』の学生は昨年(2119年度)22.2%、今年31.2%となり、こちらは9ポイント増加しました。

反面「それ以外の学修時間」では、1週間の学習時間が3時間未満の学生が昨年(2119年度)は84.4%でしたが、今年(2020年度)は91.2%と増加しています。

「授業に関わる学修時間」が多くなった学生が増加したことは喜ばしい事と捉えられますが、「それ以外の学修時間」に時間を割く学生が減っています。「コロナ禍」によるオンライン授業の増加（本学は後期、対面授業を基本とした）とも関係があると考えられますが「授業に関わる学修」と共に「授業意外の学修」も積極的になれるよう、更なる支援の取り組みも望まれます。

表2-1 設問61 (学科別集計)

	学生数	回答者数	回答率	ほとんどしない	1h未満	1h~3h未満	3h~5h未満	5h~7h未満	7h~10h未満	10h以上
総計	1,205	732	[60.75%]	42 [5.74%]	69 [9.43%]	210 [28.69%]	183 [25.00%]	121 [16.53%]	60 [8.20%]	47 [6.42%]
国際英語	140	67	[47.86%]	3 [4.48%]	2 [2.99%]	17 [25.37%]	19 [28.36%]	13 [19.40%]	8 [11.94%]	5 [7.46%]
史学	169	108	[63.91%]	2 [1.85%]	8 [7.41%]	30 [27.78%]	35 [32.41%]	13 [12.04%]	13 [12.04%]	7 [6.48%]
心理	178	108	[60.67%]	8 [7.41%]	14 [12.96%]	29 [26.85%]	24 [22.22%]	23 [21.30%]	4 [3.70%]	6 [5.56%]
日本文化	107	84	[78.50%]	1 [1.19%]	7 [8.33%]	24 [28.57%]	21 [25.00%]	14 [16.67%]	8 [9.52%]	9 [10.71%]
幼児教育	216	123	[56.94%]	8 [6.50%]	17 [13.82%]	50 [40.65%]	30 [24.39%]	12 [9.76%]	5 [4.07%]	1 [0.81%]
児童教育	80	58	[72.50%]	0 [0.00%]	5 [8.62%]	12 [20.69%]	16 [27.59%]	11 [18.97%]	8 [13.79%]	6 [10.34%]
生活文化	134	92	[68.66%]	11 [11.96%]	7 [7.61%]	18 [19.57%]	21 [22.83%]	15 [16.30%]	10 [10.87%]	10 [10.87%]
観光文化	181	92	[50.83%]	9 [9.78%]	9 [9.78%]	30 [32.61%]	17 [18.48%]	20 [21.74%]	4 [4.35%]	3 [3.26%]

表2-2 設問61 (学年別集計)

	学生数	回答者数	回答率	ほとんどしない	1h未満	1h~3h未満	3h~5h未満	5h~7h未満	7h~10h未満	10h以上
総計	1,205	732	[60.75%]	42 [5.74%]	69 [9.43%]	210 [28.69%]	183 [25.00%]	121 [16.53%]	60 [8.20%]	47 [6.42%]
1年生	339	255	[75.22%]	9 [3.53%]	20 [7.84%]	87 [34.12%]	65 [25.49%]	43 [16.86%]	22 [8.63%]	9 [3.53%]
2年生	311	174	[55.95%]	5 [2.87%]	7 [4.02%]	35 [20.11%]	50 [28.74%]	33 [18.97%]	23 [13.22%]	21 [12.07%]
3年生	282	140	[49.65%]	5 [3.57%]	10 [7.14%]	42 [30.00%]	41 [29.29%]	22 [15.71%]	9 [6.43%]	11 [7.86%]
4年生	273	163	[59.71%]	23 [14.11%]	32 [19.63%]	46 [28.22%]	27 [16.56%]	23 [14.11%]	6 [3.68%]	6 [3.68%]

表2-3 設問61 (キャンパス別集計)

	学生数	回答者数	回答率	ほとんどしない	1h未満	1h~3h未満	3h~5h未満	5h~7h未満	7h~10h未満	10h以上
総計	1,205	732	[60.75%]	42 [5.74%]	69 [9.43%]	210 [28.69%]	183 [25.00%]	121 [16.53%]	60 [8.20%]	47 [6.42%]
我孫子C	884	573	[64.82%]	30 [5.24%]	58 [10.12%]	163 [28.45%]	147 [25.65%]	88 [15.36%]	48 [8.38%]	39 [6.81%]
目白C	321	159	[49.53%]	12 [7.55%]	11 [6.92%]	47 [29.56%]	36 [22.64%]	33 [20.75%]	12 [7.55%]	8 [5.03%]

表3-1 設問63 (学科別集計)

	学生数	回答者数	回答率	ほとんどしない	1h未満	1h~3h未満	3h~5h未満	5h~7h未満	7h~10h未満	10h以上
総計	1,205	731	[60.66%]	249 [34.06%]	173 [23.67%]	176 [24.08%]	69 [9.44%]	30 [4.10%]	14 [1.92%]	20 [2.74%]
国際英語	140	67	[47.86%]	12 [17.91%]	20 [29.85%]	19 [28.36%]	11 [16.42%]	1 [1.49%]	2 [2.99%]	2 [2.99%]
史学	169	107	[63.31%]	40 [37.38%]	20 [18.69%]	26 [24.30%]	8 [7.48%]	4 [3.74%]	4 [3.74%]	5 [4.67%]
心理	178	108	[60.67%]	44 [40.74%]	28 [25.93%]	22 [20.37%]	9 [8.33%]	3 [2.78%]	1 [0.93%]	1 [0.93%]
日本文化	107	84	[78.50%]	23 [27.38%]	17 [20.24%]	23 [27.38%]	8 [9.52%]	7 [8.33%]	3 [3.57%]	3 [3.57%]
幼児教育	216	123	[56.94%]	59 [47.97%]	25 [20.33%]	22 [17.89%]	11 [8.94%]	2 [1.63%]	3 [2.44%]	1 [0.81%]
児童教育	80	58	[72.50%]	18 [31.03%]	16 [27.59%]	15 [25.86%]	6 [10.34%]	1 [1.72%]	0 [0.00%]	2 [3.45%]
生活文化	134	92	[68.66%]	24 [26.09%]	24 [26.09%]	21 [22.83%]	10 [10.87%]	9 [9.78%]	0 [0.00%]	4 [4.35%]
観光文化	181	92	[50.83%]	29 [31.52%]	23 [25.00%]	28 [30.43%]	6 [6.52%]	3 [3.26%]	1 [1.09%]	2 [2.17%]

表3-2 設問63 (学年別集計)

	学生数	回答者数	回答率	ほとんどしない	1h未満	1h~3h未満	3h~5h未満	5h~7h未満	7h~10h未満	10h以上
総計	1,205	731	[60.66%]	249 [34.06%]	173 [23.67%]	176 [24.08%]	69 [9.44%]	30 [4.10%]	14 [1.92%]	20 [2.74%]
1年生	339	254	[74.93%]	115 [45.28%]	69 [27.17%]	50 [19.69%]	13 [5.12%]	3 [1.18%]	1 [0.39%]	3 [1.18%]
2年生	311	174	[55.95%]	74 [42.53%]	44 [25.29%]	38 [21.84%]	11 [6.32%]	2 [1.15%]	3 [1.72%]	2 [1.15%]
3年生	282	140	[49.65%]	38 [27.14%]	31 [22.14%]	45 [32.14%]	15 [10.71%]	7 [5.00%]	1 [0.71%]	3 [2.14%]
4年生	273	163	[59.71%]	22 [13.50%]	29 [17.79%]	43 [26.38%]	30 [18.40%]	18 [11.04%]	9 [5.52%]	12 [7.36%]

表3-3 設問63 (キャンパス別集計)

	学生数	回答者数	回答率	ほとんどしない	1h未満	1h~3h未満	3h~5h未満	5h~7h未満	7h~10h未満	10h以上
総計	1,205	731	[60.66%]	249 [34.06%]	173 [23.67%]	176 [24.08%]	69 [9.44%]	30 [4.10%]	14 [1.92%]	20 [2.74%]
我孫子C	884	572	[64.71%]	208 [36.36%]	130 [22.73%]	129 [22.55%]	52 [9.09%]	26 [4.55%]	11 [1.92%]	16 [2.80%]
目白C	321	159	[49.53%]	41 [25.79%]	43 [27.04%]	47 [29.56%]	17 [10.69%]	4 [2.52%]	3 [1.89%]	4 [2.52%]

2020年度 満足度について

■調査と検証方法■

「満足度」や「大学への所属意識」の設問は14問あります。(下図参照)
各設問に対して、「あてはまらない」「ややあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」の4択で回答してもらいました。

検証においては回答をポイント化(「あてはまらない」=1、「ややあてはまらない」=2、「ややあてはまる」=3、「あてはまる」=4)し、その平均を過去4年の回答と比較しました。2020年度の調査対象者数1205名、回答率61.0%を検証しました。

■検証■

在学期間の変遷の回答は1年生時(橙)、2年生時(黄)、3年生時(緑)、4年生時(茶)と並べてみると、概ね在学期間が増すごと満足度が上がっていることがわかります。

特に履修授業(設問40)、所属学科(設問9)については1年生時より高い値(3.34)を示しており、卒業時には、3.39と更に上がっています。大学や学科の取り組みが、学生から一定の評価を得ていると、捉える事ができます。

図2 学生全体の過去4年を比較すると女子大学についての設問、(設問15~17)は、ポイントが上がっていく傾向にあり、学生が本学に在籍することで女子大について肯定的になっていることが伺えます。

図1 満足度 卒業生 在学期間変遷

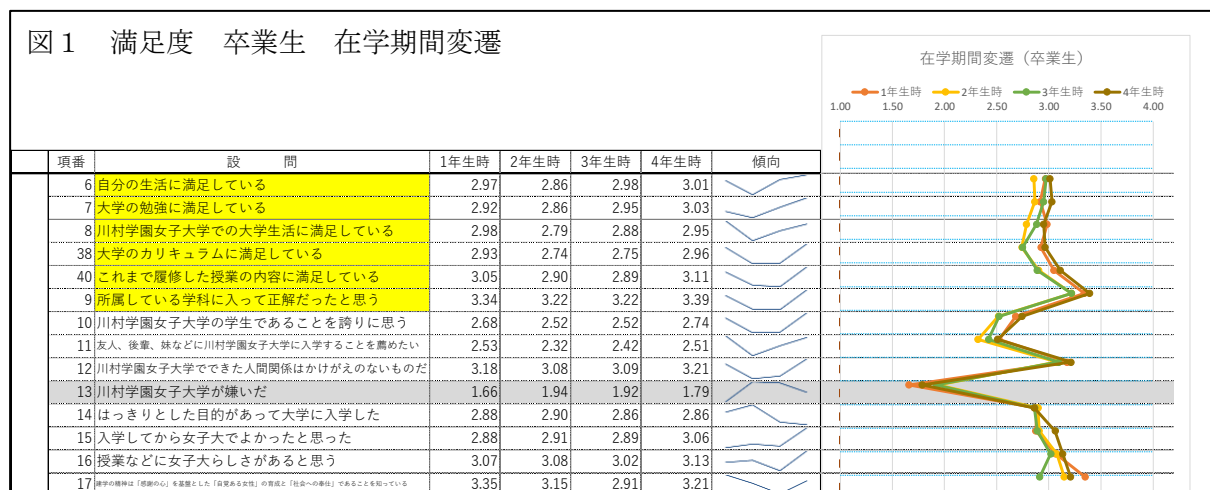
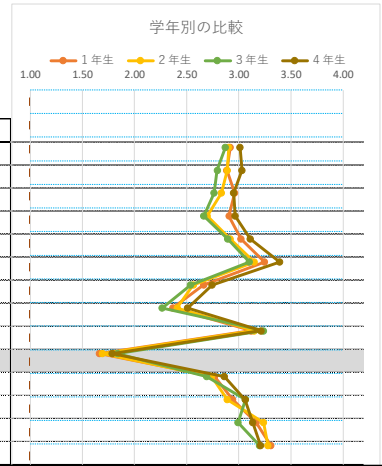


図2 満足度 学生全体の過去4年間の比較(2017~2020年度)



図3 満足度 学年別の比較

項番	設問	1年生	2年生	3年生	4年生	傾向
6	自分の生活に満足している	2.92	2.90	2.87	3.01	↘ ↗
7	大学の勉強に満足している	2.88	2.89	2.79	3.03	↘ ↗
8	川村学園女子大学での大学生活に満足している	2.96	2.83	2.76	2.95	↘ ↗
38	大学のカリキュラムに満足している	2.91	2.70	2.66	2.96	↘ ↗
40	これまで履修した授業の内容に満足している	3.02	2.92	2.89	3.11	↘ ↗
9	所属している学科に入って正解だったと思う	3.25	3.15	3.10	3.39	↘ ↗
10	川村学園女子大学の学生であることを誇りに思う	2.66	2.56	2.54	2.74	↘ ↗
11	友人、後輩、妹などに川村学園女子大学に入学することを薦めたい	2.37	2.41	2.26	2.51	↘ ↗
12	川村学園女子大学でできた人間関係はかけがえないものだ	3.12	3.15	3.24	3.21	↘ ↗
13	川村学園女子大学が嫌いだ	1.67	1.69	1.84	1.79	↘ ↗
14	はっきりとした目的があって大学に入学した	2.77	2.74	2.69	2.86	↘ ↗
15	入学してから女子大でよかったと思った	2.94	2.89	3.06	3.06	↘ ↗
16	授業などに女子大らしさがあると思う	3.17	3.24	2.99	3.13	↘ ↗
17	大学の精神は「国際中心」を基盤とした「国家あるが世」の育成と「社会への奉仕」であることを掲げている	3.31	3.28	3.20	3.21	↘ ↗



2020年度 学生の意欲について

■調査と検証方法■

「学生の意欲」や「キャリア意識」に関わる設問は6問あります。（下図参照）各設問に対して、「あてはまらない」「ややあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」の4択で回答してもらいました。

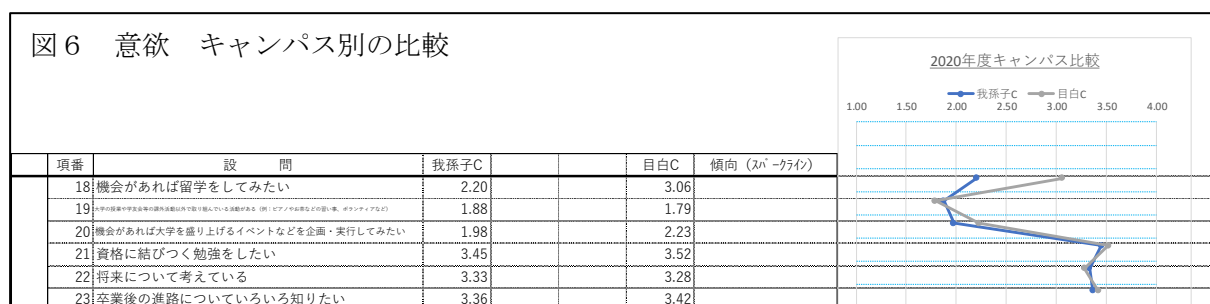
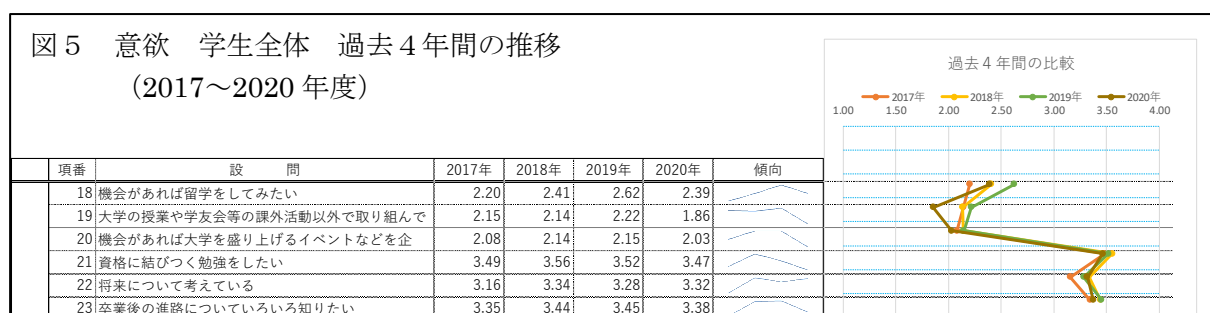
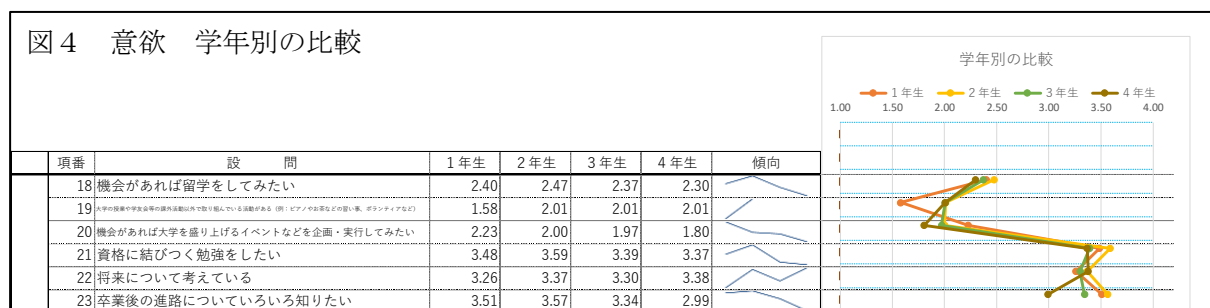
検証においては回答をポイント化（「あてはまらない」＝1、「ややあてはまらない」＝2、「ややあてはまる」＝3、「あてはまる」＝4）し、その平均を過去3年の回答と比較しました。2020年度の調査対象者数 1205名、回答率 61.0%を検証しました。

■検証■

学生のキャリアに対する意識は「資格に結びつく勉強がした（3.47ポイント）」「将来について考えている（3.32ポイント）」「卒業後の進路について知りたい（3.38ポイント）」と例年同様に高い値を示しています。

反面、「機会があれば留学してみたい（2.39ポイント）」「大学の授業や学友会等の課外活動以外で取り組んでいる活動がある（習い事、ボランティアなど）（1.86ポイント）」「機会があれば大学を盛り上げるイベントなどを企画・実行してみたい（2.03ポイント）」と低い値をしめしています。これらは過去4年間同様の傾向であり、学生の資格や進路などへの意識・意欲は高い一方で、実際の行動へ必ずしも結びついていないことを示唆するものと考えられます。

「図4 学年別の比較」を見ると、「機会があれば大学を盛り上げるイベントなどを企画・実行してみたい（2.23ポイント）」他学年より高い値を示している。コロナ禍による学内での課外活動などが行われなかった事が要因の1つと思われます。



2020年度 学修成果・成長実感について

■調査と検証方法■

「学修成果」「成長実感」に関わる設問は20問あります。(下図参照)
各設問に対して、「あてはまらない」「ややあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」の4択で回答してもらいました。

検証においては回答をポイント化(「あてはまらない」=1、「ややあてはまらない」=2、「ややあてはまる」=3、「あてはまる」=4)し、その平均を過去の回答と比較しました。

*2017年度のアンケートでは本調査(学修成果・成長実感)は、卒業生のみ実施しており
全学年のデータはありません。2018年度より全学年を対象に実施しており、2020年度の調査対象者数1205名、回答率61.0%を検証しました。

■検証■

「図7卒業生推移」において17項目(全20問)で、3年生時の回答を上回り「学修成果・成長実感」を得ていることがわかります。

「図8学年別比較」を見ても4年生のポイント3年生以下より高い事がわかります。

